

漆の国の丁寧な手仕事 艶やかなぬくもりの器たちは 普段使いにもうれしい

八幡平市を含む岩手県北部は、古くから全国でも有数の漆の産地として知られています。ここから採取される漆は、透明度・発色ともに良く、硬度に優れた堅牢な品質を誇っています。

八幡平市安代地区は、豊富な漆の産地という恵まれた条件を生かし、藩政時代から生活に根ざした漆器を作っていました。時代が変わる中で一時伝統が途絶えたこともありますが、安比塗漆器工房では、伝統ある漆器の復興を目指し、新たに現代の用に合わせた「安比塗」として丈夫で使いやすい漆器を作っています。安比塗の特長は、漆を塗り重ねることで漆本来のつや質感を活かし、保温性も高く温かい料理も冷たい料理もおいしく食べられること。ぬくもりと丈夫さを合わせ持っています。普段使いにも最適です。

ご使用時の注意

安比塗の漆器は、末永く愛用していただけるように素材を吟味し、堅牢で丈夫ですが、使用時には次の点にご注意ください。

- 使用後は長く湯水に浸けておかず、手早く洗って乾いた布で拭いてください。
- 電子レンジ及び食器洗浄機でのご使用はさけてください。
- 万が一、細かいキズやカケなどのトラブルが生じた場合は、修理や塗り直しも承っていますのでご相談ください。責任を持って対応させていただきます。

安比塗漆器工房

〒028-7533 岩手県八幡平市叭田230-1

TEL 0195-63-1065 FAX 0195-63-1066

E-mail——sikki@ashiro.net

URL——<http://www.ashiro.net/~sikki/>

A p p i n u r i



安比塗

くらし
生活を彩る伝統漆器「安比塗」。使うほどに愛着がわきます。

安比塗の木地はミズメ桜、トチ、ケヤキなどを主体に狂いが出にくい縦挽のものを使用。下地から上塗りまで漆を塗り重ねる「漆下地」を施しているのが特徴で、特に上塗りは自社で精製した国産漆のみを使っており、その鮮やかな発色と堅牢さは国産漆の特長を十分に生かしています。当工房で育った若い作り手たちは、伝統を踏まえながら、新しいものづくりに挑戦し続けています。



木固め



内塗り、外塗り



研ぎ



上塗り

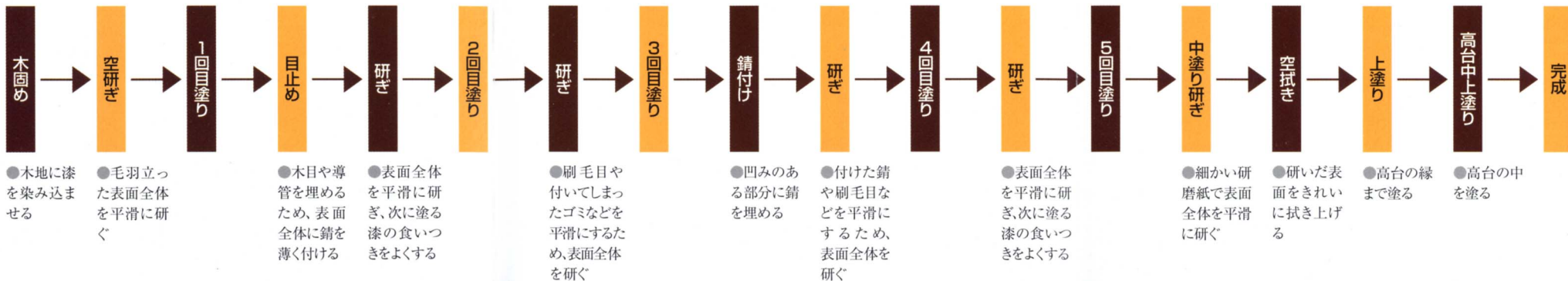


高台中上塗り

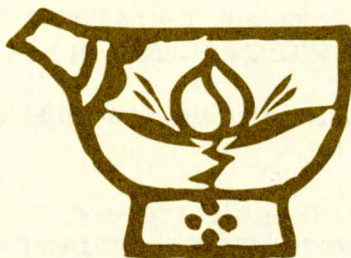


完成

安比塗の主な工程



安比塗



安比(あっぴ)塗

八幡平市安代地域は良質の漆と原木にめぐまれ、藩政時代より浄法寺碗をはじめとする日用漆器を産し、荒沢漆器として、広く東北に知られておりました。しかし、東北有数の規模を誇った荒沢漆器も、戦後、後継者の不足や、農業への転職、プラスチック漆器の台頭等により、生産が低迷しておりました。当漆器工房は、この伝統ある漆器の復興を目指し、あらたに「安比塗」(あっぴ塗)として、丈夫で使いやすい漆器をお届けいたしております。この「安比塗」を末長く御愛用下さいますようお願い申し上げます。

お使いいただく前に

安比塗漆器工房で作られる器は、下地から当工房で精製した漆のみを使い、特に上塗りはこの地域で採取された国産漆を使用しています。下地は漆だけを塗り重ね、仕上げの鮮やかな発色と堅牢さは国産漆の良さを十分に生かしています。

しかし、漆器には独自の使い方がありますので、次の点にご注意下さい。

1. 使用後は長く湯水につけておかず、手早く洗って、乾いた布で拭いて下さい。洗剤は使用してもかまいませんが、クレンザーやタワシは使わないで下さい。
2. 漆器は太陽光線を一番嫌います。形が狂ったり、変色したりすることがあるからです。特に朱塗のものは直射日光にあてないようにして下さい。

また、万一故障が起っても、漆器は修理がききますのでご相談下さい。責任を持って対処いたします。お気付の点がございましたら、今後の参考にいたたく存じますので当漆器工房までお知らせ下さい。

安比塗漆器工房

〒028-7533 岩手県八幡平市叭田230
TEL 0195-63-1065・FAX 0195-63-1066
URL <http://www.ashiro.net/~sikki/>
E-mail: appiu@city.hachimantai.lg.jp